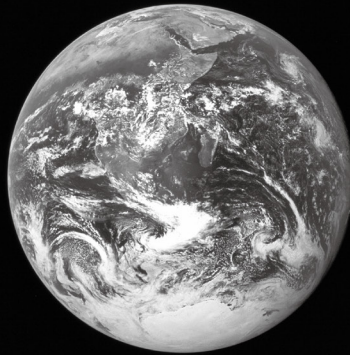


2021/09/25(Saturday)

19:00~21:00



Whole Crisis Catalogをつくる

@本屋 lighthouse



はじめに

この「Whole Crisis Catalogをつくる」という企画は、鳥取の本屋・汽水空港が発案したものです。以下、店主・モリテツヤ氏による企画趣旨をHPより一部引用します。

困っていることを解決するのが政治です。

税金はその為に払ってます。罰ゲームで払ってるわけではありませんよ、皆さま！
ということ、政治家はもちろん、僕たちもみんな忘れてる。

選挙期間始まったけど、みんな政治分らない、難しいと思ってませんか？ホントはとってもシンプルなこと。

「困ってることを解決する」

それが政治。「あなた/わたしが困っている」という状態が既に政治なんです。

その困りごとに対して、どういうリアクションをしてくれる人を選ぶか。それが選挙です。立派な意見が言えなきゃ、豊富な知識が無きゃ…って縮こまってませんか？

心配ない！ Be happy！

自分が今何に困ってるか、どういう世界に暮らしたいか。それをイメージして、投票する人を選ぼう。それだけです。

さて、今回の企画は、そういったみんなの困っていること（CRISIS）をカタログにしようというモノです。じいちゃんばあちゃん世代が今何に困ってるか、若い世代が今何に困ってるか、お互いに知らない。世代とセンスを超えて、あらゆる人の困っていることをまずはお互いに知りた。そしてリストアップしたら、まずはアナキズム的アプローチである相互扶助で解決を目指す。それでも解決できないことは、政治に求めていきましょう。その為のカタログを作ってみようという企画です。

毎回選挙の度に思うけど、立候補者をどうやって選びますか？

小さな選挙区だと、その立候補者が何を大切に生きていこうとしている人なのか全然見えてこないんですよ。毎回めっちゃくちャググって調べても、一切何も情報が出てこない。そして立候補者自身は自分の名前と所属政党しか言わない。これで一体どうやって投票しろと？

仕方がないから毎回顔のカタチとか所属政党とか名前の語呂の良さとかで投票するけど、そんなのは全く何の意味もない！笑 よくTVで見るからやっぱこの人かな。とかももう嫌笑 そういう選挙も終わりにして欲しい。ちゃんと理想を語って欲しいし、暮らしている人たちの声にどういうリアクションを取る人なのか知りたい。今回作ろうとしている『WHOLE CRISIS CATALOG』は、こういったシチュエーションの時に役に立つはず。カタログの中からみんなの困っていることをピックアップして、立候補者に投げかけてみよう。そこで返ってくる答えは投票するかしないかを定める良い判断材料として役立つはず。今回の企画、色々な人と関わって、そここのところまで持っていきたい。（いつかは）

私たち市民は、政治のことがよくわかりません。「政治に関心を持って」と言われてもどうすればいいかわからないし、どうすればわかるようになるのかもわからないまま大人になっている人がほとんどです。

私たちは皆、政治が私たちの生活にどのような影響を及ぼしているのか、実際にはわかっていません。政治に携わる人たちがふだん何をしていて、そのおかげで何がどうなって、それがどのように私たちの生活に繋がっているのか、その実感がないまま私たちは生活をしています。

それはとても寂しいし、悲しいし、不幸なことだと思います。私たちにとっても、政治家の皆さんにとっても。政治がどれだけ市民のことを思って動いても、それを感謝されることはない。あるいは、政治がどれだけ腐敗していても、市民はそれに気づかないまま生活を（苦しいまま）している。市民と政治の距離が近かったら、「仲良く」なれていたら、私たちの困りごとは解決していたかもしれない。救えた命があったかもしれない。政治は「誰がやっても同じ」などと言われて、見向きもされないものにはなっていなかったかもしれない。

この冊子、そして取り組みそのものは、その「市民と政治の距離」を近づけることを目標としています。政治と生活が密接に関わっていること、政治の腐敗が私たちの人生にも暗い影を落とすこと、良質な政治を真剣に目指している人たちがいること、そんな政治家をちゃんと選べるようになれば私たちの生活もよくなること。そういったことを「体感」し、その体感をさらなる実践に繋げていく。それを目指しています。

よって、政治家の皆さんにしてもらいたいことは以下になります。

- ・この冊子に載っている困りごとは、すべて真剣に読むこと
- ・その困りごとを解決するために何ができるか、政治家としてはもちろんのこと、ひとりの人間としても考えること
- ・ベストな回答や解決策は出せなくても、それを目指していることを私たち市民に見せること
- ・つまりこの冊子（の提出）に対して、なんらかのアクションを起こすこと

私たち市民は、あなたたち政治家のことを知りたいと思っています。あなたたちがふだん何をしているのか、何を考えているのか。そして何よりも、なぜできないのか、なぜやろうとしないのか、という疑問や猜疑心を抱えてしまうことが、お互いにとって不幸であることは疑いようがありません。でも現実はそうになっています。そして、人間は「理由」や「背景」がわかれば理解しあえることもあります。私たちが政治に求めるあれこれが実現不可能なものであるならば、なぜできないのかをきちんと説明してほしい。理由がわかれば、市民もともに解決策を考え、うまくいけば答えを見つかけられるかもしれない。お互いに信頼し、助け合う関係性を作っていきましょう。

高校の成績が5年間しか残してもらえないのは困る

大学卒業後に留学したい人はどうすれば？

デジタル対応すればもっと長期間保管できるのでは？

デジタルなら「親に見せたくない」という子どもの権利も守れる？

解決策

(左に関連して)

多くの公文書が5年で廃棄になるらしい。もっと長くできないか？

何歳からでも大学に入れる＝学べる環境作りを政治の側からできないか

学校の成績でいろいろなことが判断されるのが嫌だ

新卒一括採用が通常ルートになってる社会がよくない

解決策

西千葉の東大研究所の跡地に何を建てるのか？

子どもが楽しめる場所、文化的な施設になるとうれしい
市議会で何か話をしているのであれば詳細が知りたい
景観的にも意味があるパブリックな場所だと思うし、可能な限り公共的なものにしてほしい（商業一辺倒なものはやめてほしい）

解決策

ワクチン副反応に対する補償？みたいな仕組みがほしい

バイトや個人事業主は「休んだらそのぶん収入がなくなる」状態
正社員も有休を体調不良を理由に使わざるを得ないのはどうなのか
ワクチンを打たざるを得ない状況なのに補償がないのはどうなのか

解決策

政党员になるには？

各政党の政党员になることでいろいろな情報が得られるかも
政治が身近になるかも
でも、どうすればなれるの？

解決策

熊本市には「市長と話そう」という誰でも参加OKの場が設けられている

本来どの政治家にもこれがあるべき
ZOOM開催もいまはできるので、環境は整っているはず
政治家の事務所、もっと入りやすそうな雰囲気になるとうれしい

解決策

介護や医療など、エッセンシャルワーカーへの待遇改善

エッセンシャルワーカーほど給料水準が低いのはおかしい
介護や医療などは生存権の範疇として、国が何らかの補償に従事者に、あるいはサービスを受ける側にしてもいいのではないか

解決策

子どもの権利を子ども自身が学べる授業がない

虐待されていることに気づけない子どももいる
長期休暇中、給食がないふんご飯を食べられない子どもがいる
子どもが助けを求めやすい環境、信頼関係を作れるようにしたい

解決策

生理用品や下着を買ってもらえてない子どももいる

公的な場所でもらえるような仕組みがあるといいのではないか
大学に設置する取り組みもあったりするが、それはあくまで市民団体による
ものなので、やはり公的な支援がほしい

解決策

選択的夫婦別姓や同性婚が認められないので結婚できません

お互いに個人事業主なので姓が変わるとたくさん手続きをしないとならない
同性婚も認めてほしい（「認める」ってなんだよ、という思いもあるが）
認めてくれないならせめて事実婚でも同等の権利があって然るべきだ

解決策

ここからは前回の困りごとへの応答と、それに対する再応答のコーナーです
再応答がない場合もありますが、各自再応答を記入してみてください

社会人でも気兼ねなく悩みとかを相談できる場所・機会がほしい

(20代男性、社会人2年目)

会社の人は友だちや家族ほど「近い」存在ではなかったりするし、あるいは完全な「他者」のほうが話しやすいこともある。

解決策

どんなことに悩んでいるのか、その内容にもよりますが、例えば仕事が長続きしない、仕事につく自信がない、生活の悩みがある場合は、生活自立・仕事相談センターが保健福祉センターにあります。民青同盟など若者が集って、話したり、自己実現できるような組織もありますよ。(千葉県議・中村きみえさん)

再応答

ラフな相談場所がほしい、ってことかも？公的な場所ではなくて。
役所っぽいところに相談しに行くのもハードルが高いし、役所の人に相談してもな、みたいな相談もある(恋愛相談とか)。
精神的ハードルの低い公的な場所があるとうれしい。

共同農場みたいなのを増やしてほしい

自給自足の生活を知る。外国で街が活性化した事例あるらしい。
収穫物はみんなで分け合う。
建築基準法？のせいで新築できなくて空き地になってしまってる中途半端な土地を活用できないか。

解決策

千葉市でも市民農園など安くて野菜など作っている方も多く、民間でもシェア畑などは検見川でも行われています。生産緑地になっている場所で、使っていないような場合、そうした持ち主の方と相談していくこともありかと思います。(千葉県議・中村きみえさん)

再応答

市民農園やシェア畑、あるにはあるけど定員埋まってるところ多い？前年からの継続者が優先されるから新規参入も難しい。

子育てと仕事で時間がない

みんなで子育て、みたいなのができるとよい？

地域のつながり、団地の集会所など。

それに頼りすぎるのもよくないけど（仕事人間になりすぎる、など）。

保育園預けにくい、仕事以外の時間はNGとかある。

解決策

地域でつながることで、親同士の連携も取れる場合もありますし、ファミリーサポートセンターという制度の活用もして預けることもできるかと思います。ただ、お金がかかることについて、課題もありますし、集団で保育ができるような取り組みも大事だと思っています。（千葉市議・中村きみえさん）

再応答

空き家問題

庭の木が道路に出ちゃって街灯や標識を隠してるけど、行政の手続きがないと切れない？

とはいえ街が綺麗になりすぎるのもどうなの？

公園になってる果物、琵琶とか見なくなった。

解決策

場所についても特定していただければ、区役所の地域振興課を通じて、持ち主に、対応してもらうように求めていくことができます。（千葉市議・中村きみえさん）

再応答

困りごと、悩みを解決してくれる課に一直線にいける動線作り。

細かい分類による相談先一覧表とかあるとよい。

あるいは、あいまい検索的な機能があると探しやすいかも。

再開発しすぎ（開発の意図が住民に伝わってない）

幕張駅南口側は再開発（バスロータリー化）しないでほしい。幕張本郷駅周辺と同じように、海浜幕張駅への通過駅になってしまう。
仕事のための「便利さ」だけを追求する社会になってないか？
車が入り込めないような道を残してほしい。

解決策

幕張南口の再開発しないでとのことですが、現状は開発する予定はありません。以前再開発が進められようとしていましたが、結果的には、地権者の同意も含めて行われないことからそのまま、最低限スポットの空地を公園のような場所として街づくりを進めてきましたが、その後は、特に進展していません。車の出入りは賛否両論ありますが、現状ではこのままの街づくりかと思われます。
（千葉市議・中村きみえさん）

再応答

街に「遊び」がない

幕張からホームレスが減った。一見いいことのように思えるけど、排除されてしまっただけなのでは？（ベンチがなくなったりしてるから）
社会の暗部を知らないまま大人になると、逆にそれに触れたときに拒絶してしまう？

解決策

タイトルと書いてある内容と、どう理解してよいのか、もう少し議論したいところです。今でもネットカフェなど利用しながら、家がない中で暮らして大変な思いをしてきた方の相談もしてきました。当たり前の住まいを確保できる政治にしたいです。街の「遊び」少しゆとりのある街にしていくにはどんな風なことがしたいのか、ご一緒に相談したいなあと思います。今は特に北口に公園がないために子どもの遊び場の確保が急務だと思います。（千葉市議・中村きみえさん）

再応答

都心などでよく見られる排除アートの文脈で幕張からホームレスが「排除された」だけで、「ホームレス状態の人がいなくなった」わけではないのではないか、という趣旨からの質問でした。

困ってる人がいるときに、どう助ければいいのかわからない
(相談先がわからない)

解決策

まさに私たち政治家の出番です。でも行政の方も問い合わせすることで具体的な場合は親身に相談してくれる場合もあります。万が一、問題があった場合は、ご連絡ください。(千葉市議・中村きみえさん)

再応答

政党事務所に気軽に行ける雰囲気づくり。

政治(家)に対する敷居の高さを市民は感じているので、ウェルカム感を出してほしい。

選挙のたびに事務所ができてはなくなるのも困る。

関連して児童虐待の相談制度とかは、誰が相談(通報)したかがバレちゃうかも、という不安から相談できない場合も。

パブコメとか、公的な文書が何を書いているかわからない

いつの間にか募集されていつの間にか終わってる。パブコメの意味ある？
役所の人もよくわからないまま仕事するしかなくなってる(マイナンバーとか)。
クレームも末端の役所窓口の人に行くから彼らが疲弊する。

解決策

パブコメは政策について市民が意見を主張する貴重な場でもあります。その政策について問題点を理解していなければ、なかなか一般的にはコメントしにくいと思います。しかし、保育所の民営化や病院の新たな計画など、ご自身の思いを率直に書くことで、それぞれの回答は得られます。ただし、政策的に、変更できるような仕組みとまでは言えず、市民の声で政策を変えていかれるような対応も重要だと考えます。マイナンバーについても、国が促進していますが、現場は振り回されているように思います。(千葉市議・中村きみえさん)

再応答

そもそもパブコメが募集されていることの周知が足りないのでは？

市民にとってわかりやすい言葉にしてくれる「プロ」を役所が雇ったり、文章のプロから学んだりする機会があればいいのでは？

五輪、幕張も会場になる

ただでさえ土日に混む周辺道路がどうなるのか

住民の生活に支障が出る。

イオンモール周辺とか特にやばそう。免許更新の人もかわいそう。

ワクチン

案内来たけど受ける所ない？

介護職の母が8月と9月。

五輪前に終わってないといけないのでは？

解決策

五輪、パラも始まりましたが、無観客のために道路の混雑は、大分道路の影響は免れたように思います。あまり免許センターやイオンモールまで行っておりませんので、情報があればお聞かせください。(千葉市議・中村きみえさん)

再応答

無観客になったおかげで混雑はあまりなかったように思われます。パラの学校観戦も、途中からはいえなくなってよかったです。

解決策

ワクチンの接種を早急にと求めてきました。何度か集団接種を増やし、中央コミュニティセンターで9月9日から29日まで18時から21時まで一日240人を9月7日8時半から予約が開始されます。介護職のワクチン接種を前倒して実施をと求めてきました。施設によっては早めにできたと思われます。現状もお聞かせいただければと思います。(千葉市議・中村きみえさん)

再応答

病院の受付の人とかが大変そうでした。キャンセル待ちでの受付しかできなくなったときに、ひとりひとりに「申し訳ありません」と言っていて、それはあなたが謝ることではないのにな……などと思いました。医療従事者の心身の疲労、心配です。

食のために使うお金はあっても、必需品以外に使うためのお金がない

本を買っても読む時間がないのかも。だから買わない。
お金の循環が減ってる。
老後の蓄え 2000 万円必須、とか煽るならそれが簡単にできる環境を整備すべき。

解決策

今の働き方、政治の役割で時給 1500 円以上、正規職員を増やしていく政策も可能です。総選挙で、政策をぜひ学んでいただきながら一緒に暮らしを変えませんか？自身の手で蓄えを増やしていくことだけでなく、安心できる社会保障へと変えていくことが選挙で投票することによって変えられます。（千葉市議・中村きみえさん）

再応答

政治や社会に目を向けろ、と言われても仕事ばかりになってその余裕がない

仕事ばかりで忙しいと SNS にも浮上しなくなる（社会から不可視化される）。
年収 600 万！みたいなものを植え付けられすぎたかも。
新卒で正社員、いいところ入らないとやばい、みたいな思い込みで人生の幅を狭められてる。
「仕事ちゃんしないとダメ」と思うから忙しくなる→上の状態になる、という悪循環。

解決策

仕事が大変ですか？どこでも皆さん大変な思いをされていると思います。政治は余裕があるかないかでなく、今の自分の暮らしを良くするために税金はどう使われているのか、関心をもって軍事費偏重の今の政府の税金の莫大な無駄遣いを変えて暮らし応援の政治へと転換は必ずできます。希望を持ちませんか？（千葉市議・中村きみえさん）

再応答

時間がないからファストなものしか取り込めなくなる

本はコスパが悪い＝時間かかるから面倒、とってしまう。
落ち着いて読書モードに入れる社会状況じゃない。
学校帰りに本屋に寄る子どもがいない（寄り道しちゃいけないと言われてるから？）。

解決策

スマホでなんでもできてしまう中で本離れは深刻で、本屋さんが減ってきており、新検見川駅周辺に無くなったことでぜひ本屋さんをと高齢者の方からは要望もありました。なぜ時間がないのか、どうしたら、時間ができるのか生活の見直しもしてみませんか？（千葉市議・中村きみえさん）

再応答

緊急事態宣言出るとお店に人が来なくなる

（該当地域じゃなくても、外に出ないほうがいい雰囲気が芽生えてしまう？）

本屋にスポンサーがつけば最高なのに（年間100～200万円あれば余裕）。
それこそ文化助成なのでは？

解決策

たしかに、外出自粛を呼びかけられていると、必要以外は、出かけにくい状況があるように思います。ですが、同時に飲食店なども大変大きな影響を受けており、存続できるような支援は大事だと思っています。行政がもっと支援策を強化すると同時に、感染対策を講じている状況下ですいている時間帯では、貢献できるのではと思っています。（千葉市議・中村きみえさん）

再応答

カラス問題

アパートの共同ゴミ捨て場がやばい、と思ったら近隣ぜんぶやられてた。
と思ったらほかの地域もだった。

解決策

カラス問題では、ごみが散乱しないように捨て方の工夫や、場所によっては、折り畳み式のボックス設置でカラスの被害に遭わずに済んでいます。ただし、行政の補助がないため、地域住民の方の負担にあることがまだ課題です。（千葉県議・中村きみえさん）

再応答

アレルギー表示

チェーンはしっかりしてるところあるけど、個人店は表記ないことが多い。
そうなる「食べたいけど入れない」ので、客もお店も損なのでは？
表示の雛形とかサイトの整備など、行政で支援できることはないか。

解決策

ご指摘ももっともですね。この件では、取り上げて要望はしておりませんでした。市に求めていきたいと思います。（千葉県議・中村きみえさん）

再応答

税金ばっか払ってる気がする

解決策

税金の支払い、どれがどれだけ高いとお感じでしょうか？ほかの自治体と比べて高いものもあります。使い方、料金のあり方、ご一緒に見直してみませんか？（千葉市議・中村きみえさん）

再応答

4回目の「緊急事態宣言」が出ました。個人経営の飲食店に十分な補償もせず、飲食店にかかわって働く多くの人たちのことは無視し、PCR検査もワクチンもきちんとなさないなか、オリンピックだけはするという政府に対して、強い怒りを感じます。（花見川区/64歳/主婦）

解決策

ご指摘ももっともです。私どもは、かねてより補償をきちんとするよう求め、PCR検査の充実を求めてきました。国だけでなく自治体としての姿勢も問われます。パラリンピックの学校連携観戦まで進めており、大問題です。ぜひ、ごいっしょにいまの政治を変えましょう。（千葉市議・中村きみえさん）

再応答

この「WCCをつくる」は一度きりのイベントではなく、定期的開催される営みにしたいです。

今後も困りごとを集め、それをまとめ、提出していきます。

その歴史を残すことが、地域や自治体、そして社会全体に対してなんらかの影響を与えることを願って。

ご協力をお願いします。

この冊子は提供フリーです。

これを各自でコピーして冊子にしてもかまいません。

あるいは books.lighthouse@gmail.com までご連絡いただければ、印刷用 PDF データもしくは冊子そのものをお送りします。

興味・関心を持つであろう知人の顔が浮かんだ場合、ぜひ「こんなものがあるよ」とお知らせください。

多くの人に参加すればするほど、社会と、その社会で生きる私たちの人生がよりよいものになるはずです。



本屋 lighthouse(ライトハウス)

〒262-0032 千葉県千葉市花見川区幕張町 5-465-1-106

Mail : books.lighthouse@gmail.com

Twitter : @ book_lighthouse

Instagram : @ books_lighthouse

「Whole Crisis Catalog をつくる」@本屋 lighthouse

第 1 回 (2021/07/09 : Friday)

第 2 回 (2021/09/25 : Saturday)

まとめ冊子

2021 年 11 月 20 日 発行

発行者 : 本屋 lighthouse 関口竜平